Fukuoka Asian Art Musuem Art Exchange Programs Annual Report 08-09

平成20年度 福岡アジア美術館交流事業報告書

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

福岡アジア美術館交流事業

□美術交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を一定期間招聘し、様々な美術交流事業を行うことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術の活性化に寄与する。

□美術教育交流事業

本事業は、アジアの国・地域から美術教師や生徒を招聘し、本市の美術教師や生徒とともにワークショップや展覧会の企画等を行うことで、文化・国際交流をはかることを目的にしている。また、教育関係者とのディスカッションの場を提供し、美術教育の現状等についての相互の理解を深める。

平成20年度福岡アジア美術館交流事業報告

美術交流事業の被招聘者については公募を行い、17 カ国・地域から 72 人（美術作家 58 人、研究者・学芸員 14 人）の応募があった。美術交流事業招聘者選考委員会で美術作家はミーラ・ジョージ（インド）、ドン・サルバイバ（フィリピン）、ウェイ・レン・テイ（シンガポール）、シャ・アィファ（台湾）、研究者・学芸員はアロンコーン・チャンスク（タイ）とメイ・リン・クルス（フィリピン）が選考された。美術作家は最長 12 週間、研究者・学芸員は最長 6 週間、福岡に滞在し、様々な美術交流事業に取り組んだ。また、受入支援美術作家としてプッティポン・アルーンペン（タイ）を 7 月から 1 年間受け入れた。

美術教育交流事業ではフィリピン芸術高等学校から美術教師と生徒を招聘し、福岡市内の 4 つの高校の美術教師・生徒と「見て、触って、作って、楽しいデジタルアート」をテーマにしたワークショップ等をおこない、国際交流を図った。

美術交流事業

招聘美術作家

ミーラ・ジョージ（インド） …… 3
ドン・サルバイバ（フィリピン） …… 7
ウェイ・レン・テイ（シンガポール） …… 11
シャ・アィファ（台湾） …… 15

招聘研究者・学芸員

アロンコーン・チャンスク（タイ） …… 19
メイ・リン・クルス（フィリピン） …… 21

受入支援美術作家

プッティポン・アルーンペン（タイ） …… 23

美術教育交流事業

フィリピン芸術高等学校 ／ 博多工業高等学校
福岡西陵高等学校 ／ 福翔高等学校 ／ 九州産業大学付属九州高等学校 …… 25

招聘美術作家
ミーラ・ジョージ／Meera George（インド）
滞在期間：2008年6月9日〜8月19日

[プロフィール]
1979年生まれ。インド、チェンナイ出身。デリー大学とイギリスのケント芸術大学で美術を学んだ。
女性ならではの視点で制作された映像や写真、パフォーマンスで注目を集める若手作家。

主な活動

市民共同制作
自らが伝説の王妃ドラウパティに扮して福岡の各所に現れるというパフォーマンスをおこない、同時期に滞在していた映像作家のプッティポン・アルーンペン（タイ）がビデオ撮影した。そして、インドの民族衣装サリーで家具や室内全体を覆ったインスタレーション『女形』を制作した。写真①〜⑪

ワークショップ
「アルポナを作ろう！」（7/5） 写真⑫⑬⑭
南インドの伝統的な民俗芸術「アルポナ」を制作した。
大分県豊後大野市立三重中学校の生徒19人（博多リバレイン5階アトリウムガーデン）

トーク
（6/14） 写真⑮
これまでの活動を紹介し、滞在中のプランについて説明した。
一般参加者76人（あじびホール）

（6/27）
これまでの活動や作品のコンセプトについて、大学生と意見交換した。
九州大学美学美術史実習の受講生10人（交流スタジオ）

（7/10）
「施設等を活用した体験学習」で訪れた中学生に、制作中の作品について説明した。
原北中学校の生徒248人（交流スタジオ）

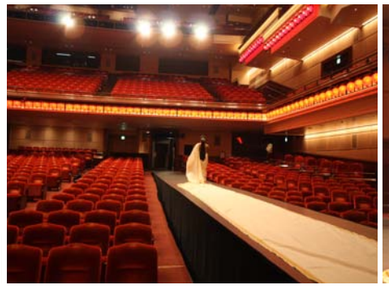
（7/11） 写真⑯⑰
公民館でインド社会における女性の社会的な役割などについて話した。
一般参加者60人（小笹公民館）

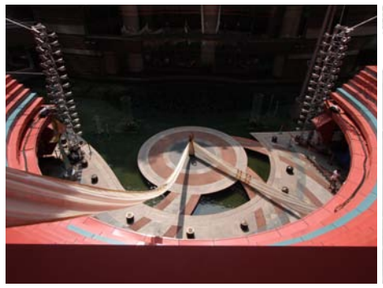
（8/16） 写真⑱⑲
「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」の関連イベントとして、滞在制作作品について語った。
一般参加者66人（交流ギャラリー）

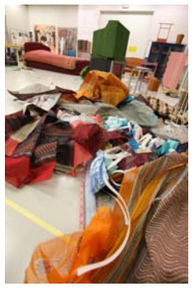
展覧会
「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」（8/16〜8/31） 写真⑳〜㉓
滞在制作作品『女形』を交流ギャラリーで展示した。

滞在制作

インスタレーション作品『女形』制作風景 ①〜⑪







招聘美術作家
ミーラ・ジョージ／Meera George（インド）

ワークショップ

「アルポナを作ろう！」（7/5） ⑫⑬⑭

トーク

「アーティスト・トーク」（6/14） ⑮

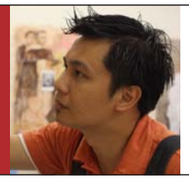
「アーティスト・トーク」（7/11） ⑯⑰

「アーティスト・トーク」（8/16） ⑱⑲

展覧会

「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」（8/16〜8/31） 写真⑳〜㉓

『女形』"Onnagata; the female role in Kabuki played by male actor"



招聘美術作家
ドン・サルバイバ／Don M. Salubayba（フィリピン）
滞在期間：2008年6月9日〜9月1日

[プロフィール]
1978年生まれ。フィリピン、ダバオ出身。フィリピン大学で美術を学んだ。
フィリピンの社会や歴史を絵画やアニメーションによって重層的に視覚化する若手作家。

主な活動

市民共同制作
福岡の昔話「せんぐり食い」やフィリピンの植民地時代の歴史や逸話にもとづいて絵画を制作。それらにオーバーヘッド・プロジェクターとビデオ・プロジェクターで影や映像を投影するインスタレーション『茶色い男の影の寓意プロジェクト』を制作したほか、市民とも影絵アニメーションを制作した。写真①②③

ワークショップ
影絵アニメーション『千尻』の制作
（6/25〜8/7、計6回） 写真④⑤⑥
福岡の民話を題材に、影絵アニメーションを制作した。
福岡の自主制作グループ5人（撮影室ほか）

影絵アニメーション『ほたる』の制作
（7/8、7/23） 写真⑦⑧⑨
フィリピンの民話を題材に影絵アニメーションを制作した。
大野城市立御陵中学校の生徒103人（御陵中学校、撮影室）

影絵アニメーション『ごっくん』の制作
（7/5〜8/10、計4回） 写真⑩⑪
福岡の民話を題材に、影絵アニメーションを制作した。
一般参加者4人（撮影室ほか）

影絵アニメーション『ねずみの天ぷら』『3つの？』の制作
（7/22〜7/24、計3回） 写真⑫⑬
福岡の民話を題材に、影絵アニメーションを制作した。
東住吉中学校美術部の生徒8人（撮影室ほか）

『空と海とカラス：ある創造の神話』の制作（8/1） 写真⑭⑮
フィリピン芸術高等学校との美術教育交流事業に参加する福岡の高校生に対して、フィリピンの自然や文化などを紹介した後、厚紙を使ってフィリピン創世記にまつわる作品を作った。
福岡市内の高校生14人（交流スタジオ）

トーク
（6/14） 写真⑯
これまでの活動を紹介し、滞在中のプランについて説明した。
一般参加者76人（あじびホール）

（6/27）
これまでの活動や作品のコンセプトについて、大学生と意見交換した。
九州大学美学美術史実習の受講生10人（交流スタジオ）

（7/10）
「施設等を活用した体験学習」で訪れた中学生に制作中の作品について説明した。
原北中学校の生徒248人（交流スタジオ）

（7/11）
公民館でフィリピンの文化について話した。
一般参加者60人（小笹公民館）

（8/16） 写真⑰⑱
「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」の関連イベントとして、滞在制作作品について語った。
一般参加者66人（交流ギャラリー）

展覧会
「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」
（8/16〜8/31） 写真⑲〜㉘
『茶色い男の影の寓意プロジェクト』のほか、『バクを飼いならす』、ワークショップで参加者が制作した影絵アニメーションと『空と海とカラス：ある創造の神話』を交流ギャラリーおよびその周辺に展示した。

滞在制作

『茶色い男の影の寓意プロジェクト』制作風景 ①②③

ワークショップ

「影絵アニメーション『千尻』の制作」（6/25〜8/7、計6回） ④⑤⑥

「影絵アニメーション『ほたる』の制作」（7/8、7/23） ⑦⑧⑨

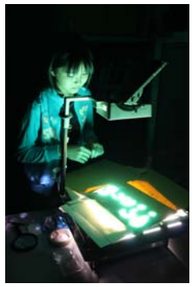
招聘美術作家
ドン・サルバイバ／Don M. Salubayba（フィリピン）

ワークショップ

影絵アニメーション『ごっくん』の制作（7/5〜8/10、計4回）⑩⑪

影絵アニメーション『ねずみの天ぷら』の制作
『3つの？』の制作（7/22〜7/24、計3回）⑫⑬

『空と海とカラス：ある創造の神話』の制作（8/1）⑭⑮



トーク

「アーティスト・トーク」（6/14）⑯

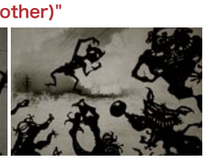
「アーティスト・トーク」（8/16）⑰⑱

展覧会

「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」（8/16〜8/31）⑲〜㉘

『茶色い男の影の寓意プロジェクト』"A Brown Man's Shadow Allegory Project"

『せんぐり食い』"Senguri-gui (one after the other)"



『バクを飼いならす』"Taming a Baku"

招聘美術作家
ウェイ・レン・テイ／Wei Leng Tay（シンガポール）
滞在期間：2009年1月13日〜3月29日

[プロフィール]
1978年生まれ。シンガポール出身、香港在住。都市の息づかいやそこで暮らす人々の生活をシャープに切り取る写真家。

主な活動

市民共同制作
福岡に住む22組の人たちの自宅で撮影した生活感のある写真と、同じ人たちを美術館の撮影室で撮影した写真（テレビモニターで上映）からなる『ここからどこへ』を制作した。写真①②③

ワークショップ
「フォトエッセイ〜写真をとおして自分の物語を作ろう！」（2/25、3/7） 写真④〜⑨
各自が使い捨てカメラを用いて学校や自宅などで思い思いに撮影し、後日、撮影した写真のなかから数点を選び出し、自分の物語を作った。
博多小学校の児童11人（博多小学校、会議室、彫刻ラウンジ）

トーク
（1/24） 写真⑩
これまでの活動を紹介し、滞在中のプランについて説明した。
一般参加者63人（あじびホール）

（3/20） 写真⑪⑫
「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」の関連イベントとして、滞在制作作品について語った。
一般参加者57人（彫刻ラウンジ）

展覧会
「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」（3/20〜4/14） 写真⑬〜㉛
写真シリーズ『ここからどこへ』（写真29点、スライドショー1点）を彫刻ラウンジに展示した。また、ワークショップ『フォトエッセイ』の写真作品をラウンジM8に展示した。

滞在制作

写真シリーズ『ここからどこへ』制作風景 ①②③

ワークショップ

「フォトエッセイ〜写真をとおして自分の物語を作ろう！」（2/25、3/7） ④〜⑨

招聘美術作家
ウェイ・レン・テイ／Wei Leng Tay（シンガポール）

トーク

「アーティスト・トーク」（1/24）⑩

「アーティスト・トーク」（3/20）⑪⑫

展覧会

「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」（3/20〜4/14）⑬⑭⑮

展覧会

「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」（3/20〜4/14）⑯〜㉛

『ここからどこへ』"Where do we go from here?"

招聘美術作家
シャ・アィファ／Hsia Aihua（台湾）
滞在期間：2009年1月23日〜3月25日

[プロフィール]
1973年生まれ。台北出身。国立台湾芸術学院を卒業した後、沖縄県立芸術大学で美術を学んだ。
漆絵の技法を用いて、どこか現実離れしたような世界を絵画や彫刻作品で表現する注目の若手作家。

主な活動

市民共同制作
水の多い街の雰囲気や日本的なマンガのイメージなど、福岡で感じた様々なことを取り入れて8枚のパネルからなる漆絵の大作『夢の狭間』を制作した。写真①②③

ワークショップ
「漆絵ハガキを作ろう！」（2/14、2/28）※福岡市文化芸術振興財団主催 写真④⑤⑥⑦
漆を塗ったハガキサイズの木の板に、彫刻刀で思い思いの絵柄を彫り、金箔を押し、漆絵ハガキを作った。
一般参加者20人（小笹公民館）

「漆絵ハガキを作ろう！」（2/16〜2/20、計5回） 写真⑧⑨⑩⑪
漆を塗ったハガキサイズの木の板に、彫刻刀で絵柄を彫り、金箔と色鮮やかな顔料を使って漆絵ハガキを作った。
一般参加者15人（美術情報コーナー）

オープンスタジオ
「漆絵制作術」（3/7、3/8） 写真⑫⑬⑭⑮
漆絵の素材に親しんだり、その技法を体験できるオープンスタジオを開催した。
一般参加者52人（交流スタジオ）

トーク
（1/24） 写真⑯
これまでの活動を紹介し、滞在中のプランについて説明した。
一般参加者63人（あじびホール）

（3/20） 写真⑰⑱
「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」の関連イベントとして、滞在制作作品について語った。
一般参加者57人（彫刻ラウンジ）

展覧会
「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」（3/20〜4/14） 写真⑲〜㉒
漆絵の大作『夢の狭間』とワークショップの参加者たちが制作した漆絵ハガキを、彫刻ラウンジに展示した。

滞在制作

漆絵『夢の狭間』制作風景 ①②③

ワークショップ

「漆絵ハガキを作ろう！」（2/14、2/28） ④⑤⑥⑦

「漆絵ハガキを作ろう！」（2/16〜2/20、計5回） ⑧⑨⑩⑪

招聘美術作家
シャ・アィファ／Hsia Aihua（台湾）

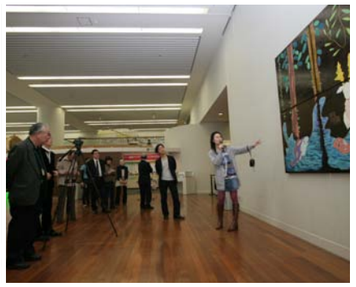
オープンスタジオ

漆絵制作術（3/7、3/8）⑫⑬⑭⑮

トーク

「アーティスト・トーク」（1/24）⑯

「アーティスト・トーク」（3/20）⑰⑱



展覧会

「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」（3/20〜4/14）⑲⑳㉑

展覧会

「第9回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」（3/20〜4/14）㉒

『夢の狭間』"Between Dreams"

研究者・学芸員等招聘事業
アロンコーン・チャンスク／Alongkorn Chansuk（タイ）
滞在期間：2008年10月15日〜11月29日

[プロフィール]
1977年生まれ。バンコク出身。タイのシラパコーン大学で美術史を学んだ。タイ国立美術館学芸員。

主な活動

調査・研究
日本のポップアートの展開について、福岡および東京で調査・研究した。写真①②③

講演会
あじび美術講座「進化するタイ絵画：アユタヤー王朝から現代まで」（11/8） 写真④⑤
タイ様式の源泉ともいえるアユタヤー王朝時代の仏教寺院や壁画からネオ・トラディショナルと呼ばれる現代の伝統的タイ絵画まで、多様なタイ絵画の潮流を紹介した。
一般参加者58人（あじびホール）

トーク
「知りたいなアジアの国々」（10/29、11/19） 写真⑥⑦⑧
小学校に出向き、総合的な学習の時間でタイの文化や自然などについて紹介した。
東吉塚小学校の児童24人（東吉塚小学校）

（11/4、11/6、11/7、計5回） 写真⑨⑩
タイの文化や自然などについて紹介した。
住吉小学校の児童129人、和白中学校特別支援学級の生徒12人、
若久病院の入院患者9人（美術情報コーナー）

調査・研究

福岡にある不思議博物館を訪問 ①②③

講演会

あじび美術講座「進化するタイ絵画：アユタヤー王朝から現代まで」（11/8） ④⑤

トーク

「知りたいなアジアの国々」（10/29、11/19） ⑥⑦⑧

「知りたいなアジアの国々」（11/4〜7） ⑨⑩

招聘研究者・学芸員
メイ・リン・クルス／May Lyn L. Cruz(フィリピン)
滞在期間：2009年2月19日〜3月31日

[プロフィール]
1977年生まれ。フィリピン大学で経済学と美術史を学んだ。マニラにあるメトロポリタン博物館で展覧会と教育プログラムを担当。

主な活動

調査・研究
当館が所蔵しているフィリピンの美術作家ブレンダ・ファハルドの作品と、日本人作家による物語絵画を比較研究した。写真①②③

講演会
あじび美術講座「むすびつき：フィリピン現代美術に見る日本の影響」(3/21) 写真④⑤
2007年にメトロポリタン博物館で開催された「むすびつき」展にもとづく講座。フィリピンのアーティストたちがいかに日本文化を取り込んでいったかを「洗練」「優雅」「遊び」「無作為」「静寂」といったテーマで論じた。
一般参加者44人（あじびホール）

トーク
「ギャラリーツアー：フィリピン美術案内」(3/8) 写真⑥⑦⑧
当館所蔵のフィリピン近代・現代美術作品を紹介するギャラリーツアー。
一般参加者30人（アジアギャラリー、彫刻ラウンジ）

調査・研究

ブレンダ・ファハルドなどの作品を調査 ①

香川県にある直島を訪れた ②③

講演会

あじび美術講座「むすびつき：フィリピン現代美術に見る日本の影響」(3/21) ④⑤

トーク

「ギャラリーツアー：フィリピン美術案内」(3/8) ⑥⑦⑧

受入支援美術作家
プッティポン・アルーンペン／Phuttiphong Aroonpheng（タイ）
滞在期間：2008年7月1日〜2009年6月30日

[プロフィール]
1976年生まれ。タイのシラパコーン大学芸術学部（版画）を卒業。フリーランスのアート・ディレクターを経て、アメリカのアート・スチューデンツ・リーグとデジタル・フィルム・アカデミーで映像を学ぶ。2007年度の招聘美術作家。日本財団アジアフェローシップの助成により滞在。

主な活動

市民共同制作
盲目の老人を主人公にしたパート1と父と息子の別れを描いたパート2からなる映像作品『静止した瞬間』を福岡の映像制作グループとともに制作した。市民が大勢出演して、福岡市及び近郊の各所で撮影した。写真①〜⑪

上映会
(12/27)
『静止した瞬間（パート1）』を上映。
一般参加者25人（あじびホール）

滞在制作

『静止した瞬間（パート1）』"A Supended Moment - Part 1" 制作風景 ①〜⑪
製作：Suspended Moment 製作委員会
協力：Room#F

打合せ

糸島市（旧・糸島郡二丈町）での撮影（10/11）

アジア美術館での撮影（10/12）

福岡市南区での撮影（10/13）

福岡市西区での撮影（2/22）

糸島市、前原市での撮影（3/1）

美術教育交流事業
フィリピン芸術高等学校 ／ 博多工業高等学校 ／ 福岡西陵高等学校 福翔高等学校 ／ 九州産業大学付属九州高等学校

主な活動

フィリピン芸術高等学校から生徒5名・美術教師1名を招聘し、福岡の高校生とともに「見て、触って、作って、楽しいデジタルアート」をテーマにしたワークショップを通して交流を図った。ワークショップの講師は、同時期に企画ギャラリーで開催していた「九州好青年科学館」展を運営する九州大学大学院芸術工学府の学生たちが務め、実験的なアニメーション表現、映像による立体表現、光と電気を使ったドミノゲームなどのワークショップを日替わりで実施した。

[期　間] 8月21日〜24日
[場　所] 当館および九州大学大橋キャンパス
[参加校] フィリピン[滞在期間:8月20日〜26日]
・フィリピン芸術高等学校(生徒5人、教師1人)
福岡
・博多工業高等学校(生徒5人、教師1人)
・福岡西陵高等学校(生徒4人、教師1人)
・福翔高等学校(生徒3人、教師1人)
・九州産業大学付属九州高等学校(生徒4人、教師1人)

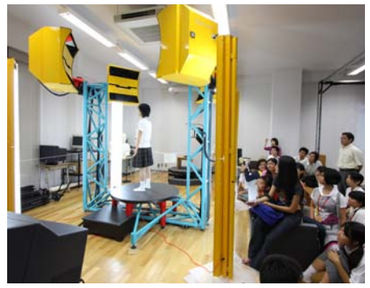
[日　程]
8月 1 日　福岡の高校生向けのオリエンテーション 写真①
招聘美術作家として福岡に滞在していたドン・サルバイバとワークショップをおこなう。
20日　フィリピン芸術高等学校、福岡に到着
21日　「九州好青年科学館」展(企画ギャラリー)の体験ツアー
九州大学大橋キャンパス(先導的デジタルコンテンツ創成支援ユニットなど)を見学 写真②③④
22日　ワークショップ「3Dビューイング」(講師:井原正裕) 写真⑤⑥
23日　ワークショップ「断面コマ撮りアニメーション」(講師:宇佐美毅) 写真⑦⑧⑨
24日　ワークショップ「電子ドミノ」(講師:的場寛) 写真⑩⑪
25日　自由時間
26日　フィリピン芸術高等学校、帰国

オリエンテーション

オリエンテーション(8/1) ①

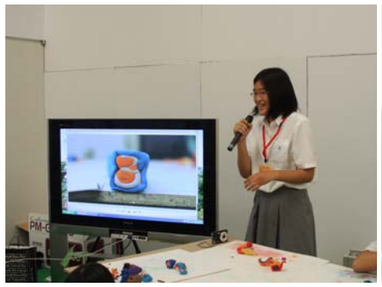
体験ツアー

九州大学大橋キャンパスを見学(8/21) ②③④



ワークショップ

「3Dビューイング」(講師:井原正裕)(8/22) ⑤⑥

「断面コマ撮りアニメーション」(講師:宇佐美毅)(8/23) ⑦⑧⑨

「電子ドミノ」(講師:的場寛)(8/24) ⑩⑪